

2018年1月10日

AGC テクノグラス株式会社による品質保証書の不適切記載について

旭硝子株式会社

この度、旭硝子株式会社（本社：東京都千代田区、社長：島村琢哉）の子会社である AGC テクノグラス株式会社（本社：静岡県榛原郡、社長：上堂地^{かみどうち いさむ} 勇）が、同社で製造・販売している生物系実験用器具 遠沈管の一部製品について、2015 年 2 月以後、検査項目の1つである DNase 検出検査を実施しないまま、同項目の品質を保証した品質保証書の発行を続けていたことが判明いたしました。当社子会社がおお客様にご心配、ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

2017 年 12 月 14 日に AGC テクノグラス社から報告が入り、ただちに、おお客様への対応を最優先として、未検査分の再確認検査を含む対象期間の当該製品の品質の確認を行い、おお客様へのご説明を実施するよう指示しました。

AGC テクノグラス社では 2017 年 12 月 20 日に当該製品の出荷を停止し、12 月 22 日よりおお客様への説明を開始、12 月 27 日より同社 WEB サイトに本件のお詫びと今後の対応を掲載しています。

当社としては、AGC テクノグラス社が再発防止の仕組みを構築して、信頼回復に向けて取り組むよう支援、指導を行う所存です。

なお、今回発生した品質保証書不適切記載の概要及び今後の対応については、以下 AGC テクノグラス社 WEB サイトに掲載しています。

<http://www.atgc.co.jp/>

<AGC テクノグラス株式会社の概要>

本社： 静岡県榛原郡吉田町

設立： 1999 年（創業 1883 年）

社長： 上堂地 勇

資本金： 72 億 3,312 万円（旭硝子株式会社 100%出資）

主な事業：耐熱ガラス食器、工業用ガラス製品、理化学用ガラス製品など

以 上